

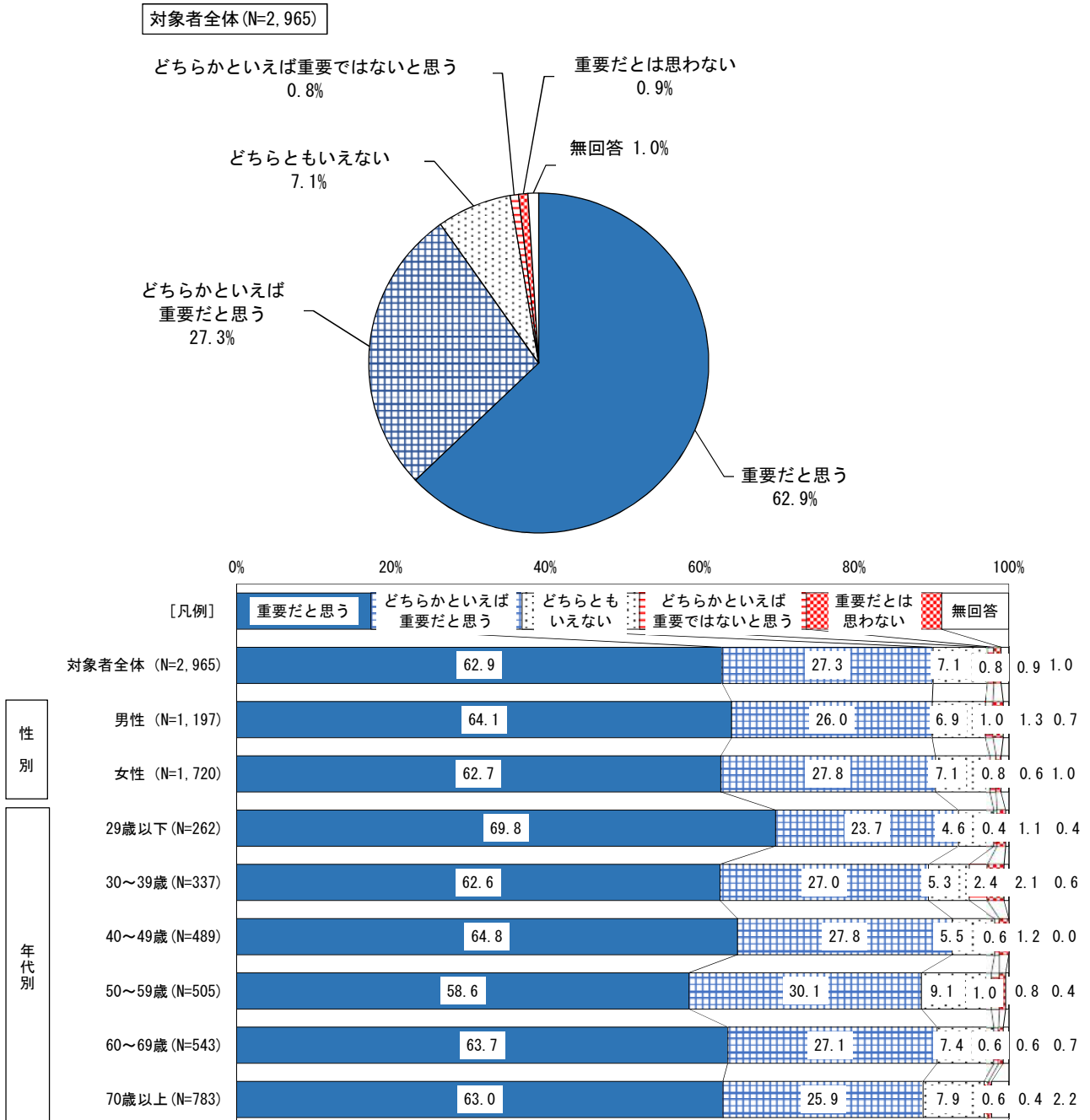
(2) 野外教育事業について

◇ 自然体験活動が子どもの心身の成長にとって重要か否か

問15 あなたは、自然体験活動が子どもの心身の成長にとって重要だと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自然体験活動が子どもの心身の成長にとって“重要だと思う”人は90.2%

※“重要だと思う”(「重要だと思う」+「どちらかといえば重要だと思う」)



【全体】 自然体験活動が子どもの心身の成長にとって重要か否かは、「重要だと思う」が 62.9%、「どちらかといえば重要だと思う」が 27.3%、合わせると 90.2%となっている。一方、「どちらかといえば重要ではないと思う」が 0.8%、「重要だとは思わない」が 0.9%、合わせると 1.7%となっている。なお、「どちらともいえない」が 7.1%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “重要だと思う”は、29歳以下(93.5%)で最も高く、次いで40歳代(92.6%)、60歳代(90.8%)となっている。

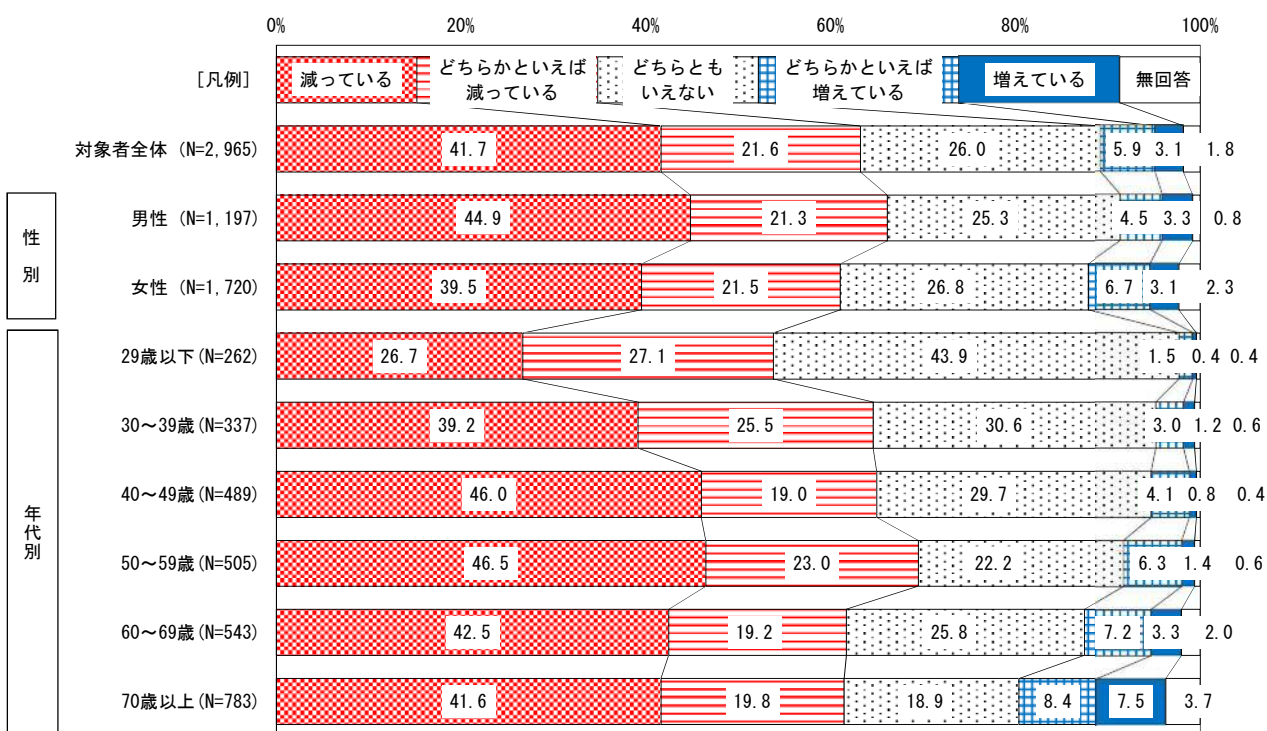
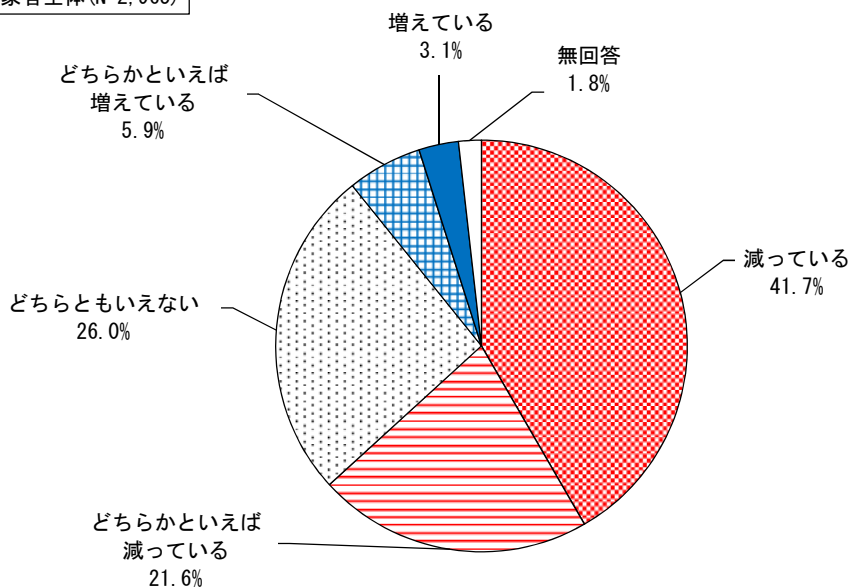
◇子どもの自然体験活動の機会

問16 あなたは、現在の子どもの自然体験活動の機会が、あなたが子どものころと比べて減っていると感じますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

子どもの自然体験活動の機会が“減っている”と感じる人は63.2%

※“減っている”(「減っている」+「どちらかといえば減っている」)

対象者全体(N=2,965)



【全体】子どもの自然体験活動の機会は、「減っている」が41.7%、「どちらかといえば減っている」が21.6%、合わせると63.2%となっている。一方、「どちらかといえば増えている」が5.9%、「増えている」が3.1%、合わせると9.0%となっている。なお、「どちらともいえない」が26.0%となっている。

【性別】“減っている”は、男性で66.2%と、女性の61.0%より5.2ポイント高くなっている。

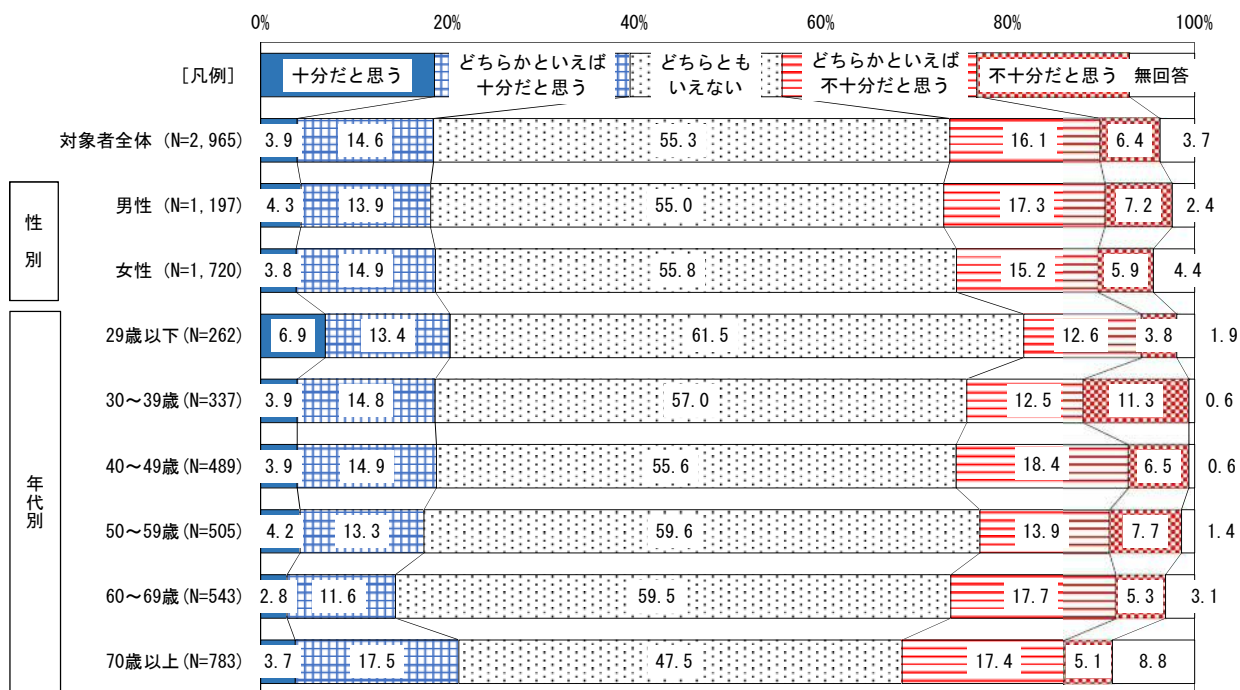
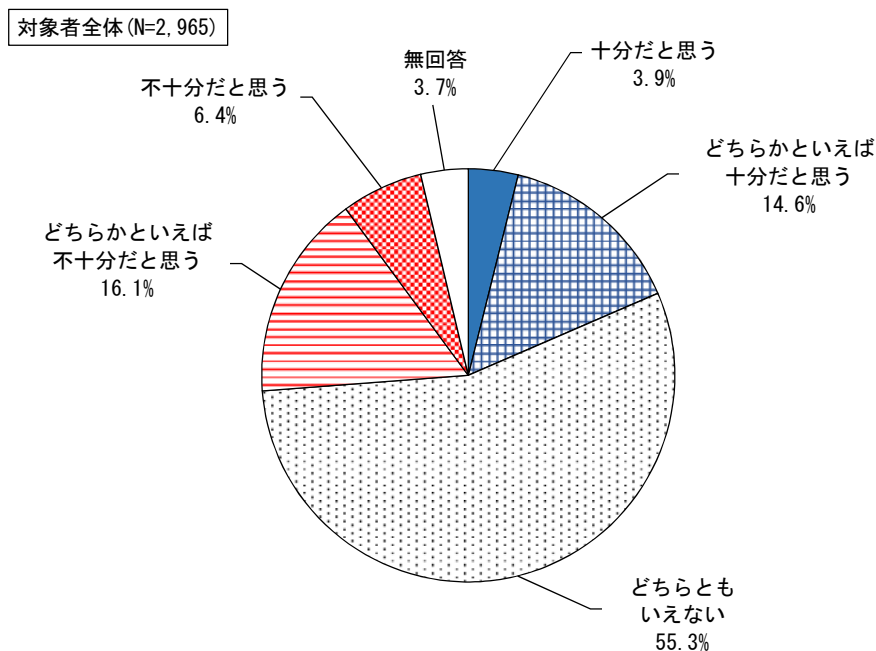
【年代別】“減っている”は、50歳代(69.5%)で最も高く、次いで40歳代(65.0%)、30歳代(64.7%)となっている。

◇子どもの自然体験活動の機会が十分か否か

問17 あなたは、札幌市の子どもの自然体験活動の機会について、どのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

子どもの自然体験活動の機会が“十分だと思う”人は18.5%

※“十分だと思う”(「十分だと思う」+「どちらかといえば十分だと思う」)



【全体】子どもの自然体験活動の機会は、「十分だと思う」が3.9%、「どちらかといえば十分だと思う」が14.6%、合わせると18.5%となっている。一方、「どちらかといえば不十分だと思う」が16.1%、「不十分だと思う」が6.4%、合わせると22.5%となっている。なお、「どちらともいえない」が55.3%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

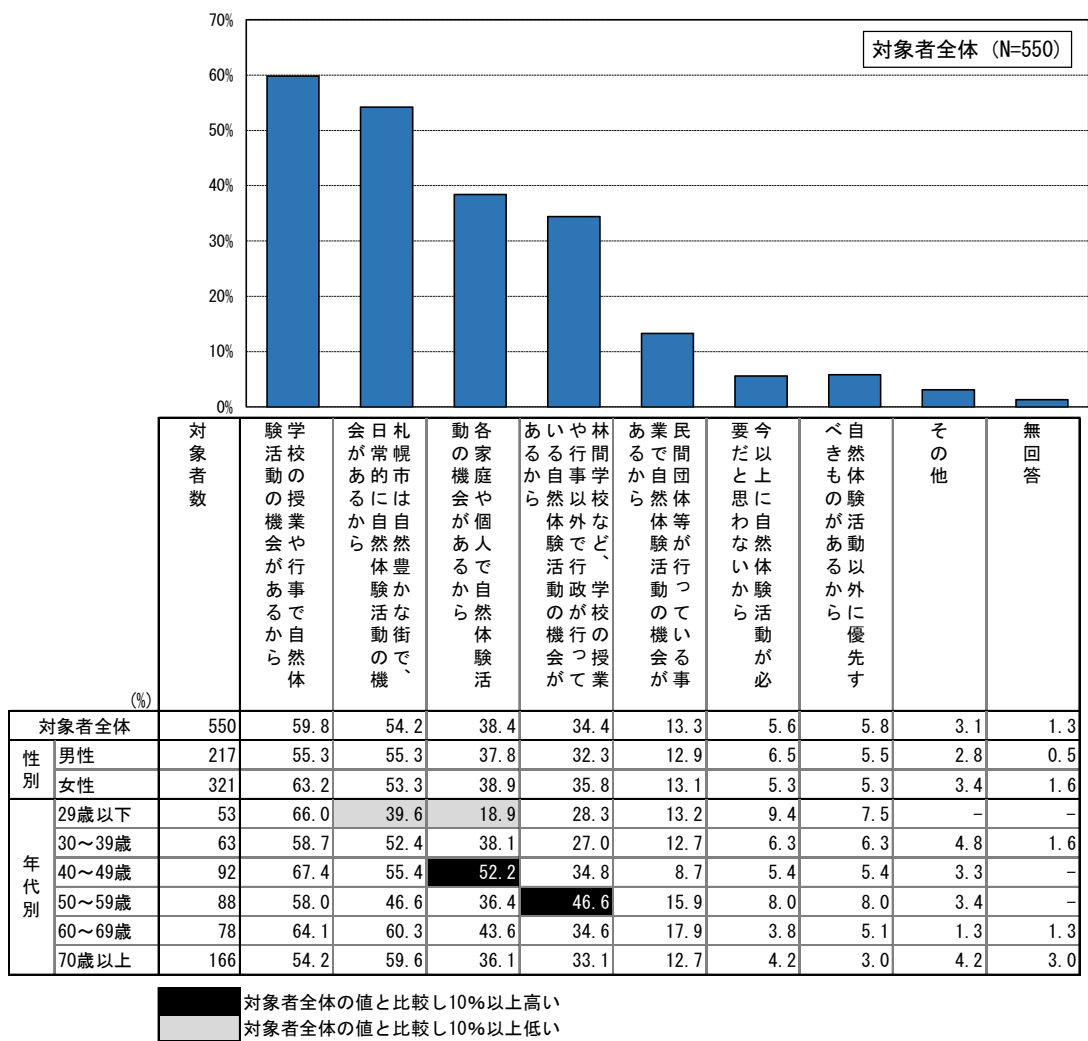
【年代別】“十分だと思う”は、70歳以上(21.2%)で最も高く、次いで29歳以下(20.2%)、40歳代(18.8%)となっている。

◇子どもの自然体験活動の機会が十分だと思う理由

《問17で「1 十分だと思う」、「2 どちらかといえば十分だと思う」と答えた方にお聞きします。》

問17-1 あなたが、十分だと思う理由はなんですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

子どもの自然体験活動が十分だと思う理由は「学校の授業や行事で自然体験活動の機会があるから」が59.8%



【全体】子どもの自然体験活動が十分だと思う理由は、「学校の授業や行事で自然体験活動の機会があるから」が59.8%、「札幌市は自然豊かな街で、日常的に自然体験活動の機会があるから」が54.2%、「各家庭や個人で自然体験活動の機会があるから」が38.4%となっている。

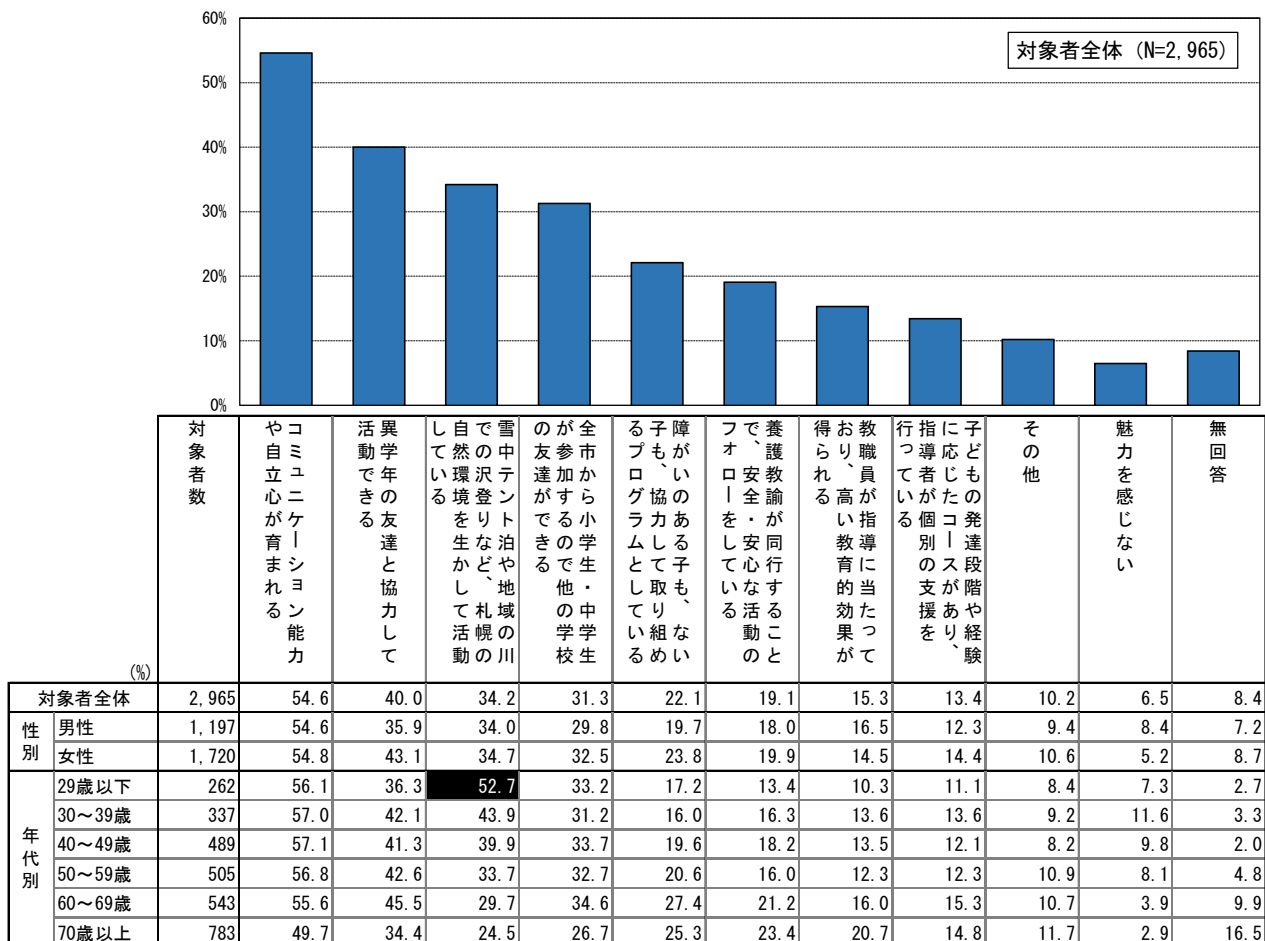
【性別】「学校の授業や行事で自然体験活動の機会があるから」は、女性で63.2%と、男性の55.3%より7.9ポイント高くなっている。

【年代別】「各家庭や個人で自然体験活動の機会があるから」は、40歳代(52.2%)で最も高く、最も低い29歳以下(18.9%)とは、33.3ポイントの差となっている。

◇札幌林間学校のどのようなところに魅力を感じるか

問18 あなたは、「札幌市林間学校」のどのようなところに魅力を感じますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌林間学校の魅力は「コミュニケーション能力や自立心が育まれる」と感じる人が54.6%



■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】札幌林間学校のどのようなところに魅力を感じるかは、「コミュニケーション能力や自立心が育まれる」が54.6%、「異学年の友達と協力して活動できる」が40.0%、「雪中テント泊や地域の川での沢登りなど、札幌の自然環境を生かして活動している」が34.2%となっている。

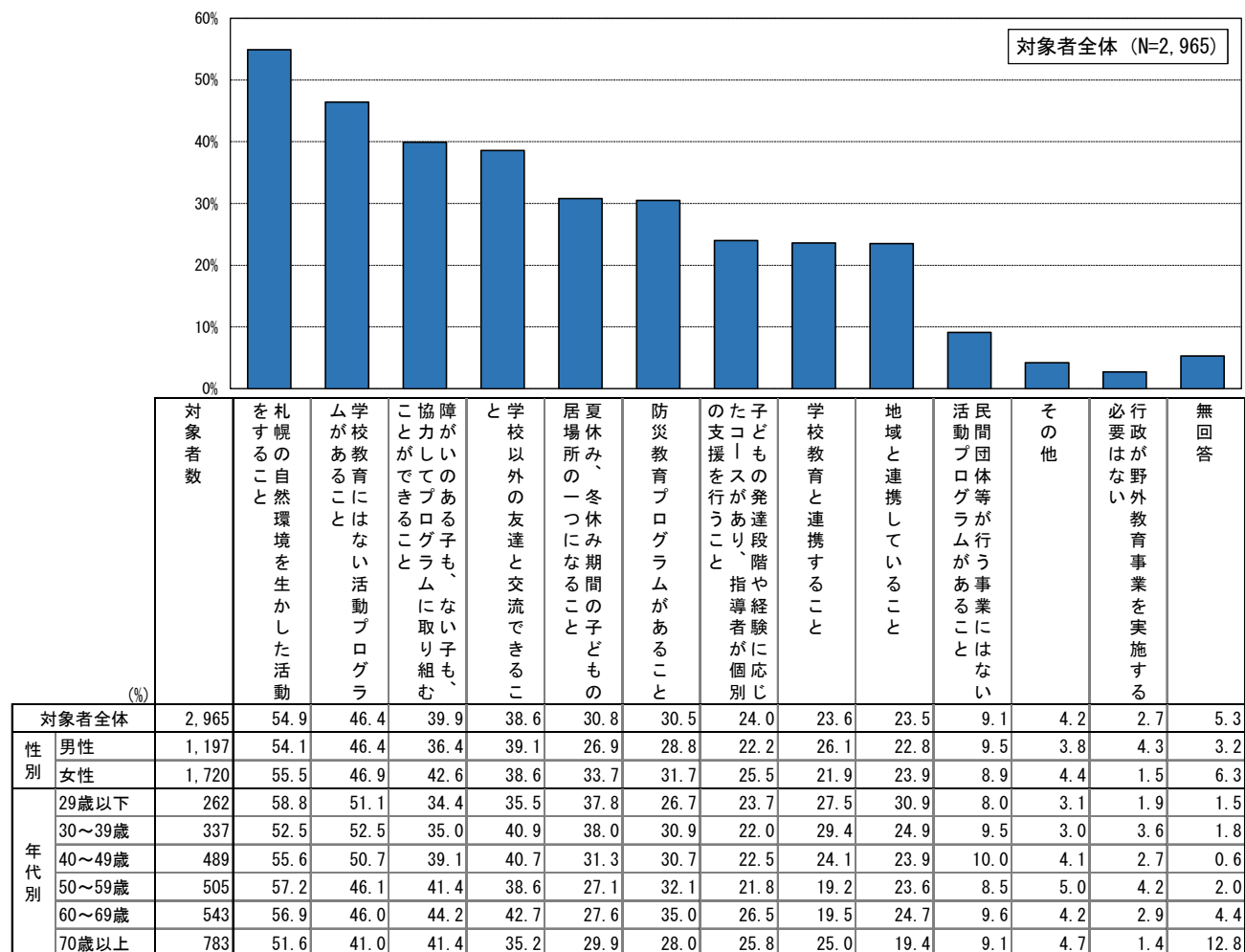
【性別】「異学年の友達と協力して活動できる」は、女性で43.1%と、男性の35.9%より7.2ポイント高くなっている。

【年代別】「雪中テント泊や地域の川での沢登りなど、札幌の自然環境を生かして活動している」は、29歳以下(52.7%)で最も高く、最も低い70歳以上(24.5%)とは、28.2ポイントの差となっている。

◇行政が実施する野外教育事業で重要だと思うこと

問19 あなたは、行政が実施する野外教育事業においては、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

行政が実施する野外教育事業において「札幌の自然環境を生かした活動をする」が重要だと感じる人は 54.9%



■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【全体】 行政が実施する野外教育事業で重要だと思うことは、「札幌の自然環境を生かした活動をする」が54.9%、「学校教育にはない活動プログラムがあること」が46.4%、「障がいのある子ども、ない子ども、協力してプログラムに取り組むことができること」が39.9%となっている。

【性別】 「障がいのある子ども、ない子ども、協力してプログラムに取り組むことができること」、「夏休み、冬休み期間の子どもの居場所の一つになること」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】 「札幌の自然環境を生かした活動をする」は、29歳以下(58.8%)で最も高く、次いで50歳代(57.2%)、60歳代(56.9%)となっている。